

キッズみんなの日記

9月号

まだまだ、暑い日が続いていますが、スイスイと頭上を飛ぶトンボの姿、夜、リーンリーンと聞こえる虫の合唱が秋の気配を感じさせますね。

みなさんも、五感を働かせて季節を感じてみませんか。自分が見つけた『秋』を日記でぜひ教えてくださいね。

先月は、楽しかった夏休みの思い出が盛りだくさんでした。日記を通して、みなさんの思い出深い夏休みを一緒に楽しむことができました。それでは、優秀作品の紹介です。ぜひ、参考にしてください。

★初級者(一・二年生)の部★

きのうプール

きのう、かぞくでプールにいききました。

すべりだいであそびました。

こどもプールにはいったら、ね

とうみたかったです。

ながれるプールにはいつてみ

たら、かつてにながされちゃいま

した。(小一・KAさん)



優秀作品紹介

とっても暑い日にプールで遊んだことを、たとえを使って上手に表現できましたね。「熱湯」はちよびり言い過ぎですが、そこは、一年生ですのご愛敬。流れるプールで、自分の体が流されていくことを楽しんでいる様子を、自分なりの素直な言葉で上手に書いています。

いなげかいひんプール

家ぞく五人でこうそくにのって遠くのプールに行きました。

はじめて、ウォータースライダー



にちようせんしてみました。二人のりのうきわでママと二人ですべりました。さいしよは、こわくてやるのにゆうきがいました。だけど、いっかいすべるとたのしくなりました。さいしよがとでもはやくて、さいごは、かおにバシヤと水がかかりました。(小二・MH君)

ちよびりこわかった初めてのウォータースライダー。思い切つて一度滑つたら、すつかり楽しくなつたこと、誰にでも経験がありますよね。そんな気持ちの変化をとでも上手に表現しています。「バシヤン」という擬声語を使い、躍動感あふれる文章に仕上がりました。

★★中級者(三・四年生)の部★★

体けんのたび二日目

今日は、むらさきむらに行つて、トンボダムを作りました。

ガラスをとかして玉を作つてから、ひもをむすんでできあがりです。玉を作るとき、ガラスぼうをずつともっているの、うでがいたかつたけど、ぼくのオリジナルとんぼ玉ができてよかったです。

そのつぎにシーウォーカーをやりました。シーウォーカーとは、四十キロのヘルメットをかぶつて海の中を歩く遊びです。エサを魚にやったら、魚がいっぱいあつまつてきてくすぶつたかったです。ナマコや、まんじゅうひとでや、しゃこをさわつて楽しかったです。(小三・SY君)



とんぼ玉が完成したときや、魚にエサをやっているとき、Y君は最高の笑顔をしていました。体験したことの説明や苦労した点も大変上手に書いています。なんといっても、この素直な感想のかわいこと。たまりませんね!文章の構成もバツチリです。

★★★上級者(五・六年生)の部★★★

いとこの初めての海

今日、いとこと沖繩の海に行きました。



いとこは、一オで、海に行くのははじめてなので、怖がるかと思つていました。しかし、いとこの梨結は、海の塩水をなめて、おもしろがっていました。きつと梨結は、しよばいのが不思議だったのだと思います。(小五・HAさん)

小さいといこの様子を心配しながらよく見ていることがわかりますね。Aちゃんの心配をよそに梨結ちゃんは、すつかり海を満喫した様子。小さいといこの「なめておもしろがる」という動作から、「不思議だったのだらう」と気持ち想像して表現することで、文章をうまく書き広げています。お見事。

地味な花火

今日の夜、家族で花火をしました。

最初に、七色に変わる花火をしました。どんな色からでてるのかワクワクしながら火を付けました。色々な色に変わり、家族で大騒ぎ。とても、もり上がりました。

次に、今夜のメインイベント、ぼくが楽しみにしていたねずみ花火。母が火をつけました。

「くるくる……ポスッ。」

思った以上に地味でした。本当に地味でした。(小六・WK君)



K君の家族が花火を囲んで盛り上がりつつある様子が目に浮かびますね。そして、楽しみにしていたねずみ花火。その様子と結果をなんともユーモラスに表現してくれました。ねずみ花火の動きや音はカギカッコを使ってうまく強調し、「地味だった」という言葉を繰り返す事によって、期待はずれな結果だったことを上手に表現できました。思わず笑いを誘う文章です。

●伊藤先生の「おすすすめ本」のコーナーは紙面の都合により今月はお休みさせていただきます。ご了承ください。

「キッズみんなの日記」に関するご意見・ご感想は梨香台

ゼミナル宛、または、市澤宛にごしお寄せください。

info@rikohdai.com shoko@rikohdai.com